

V 実現に向けた基本的考え方

V-1 札幌駅交流拠点におけるエリアマネジメントの方向性

札幌駅交流拠点においては、“現在の顔”である南口広場と“新たな顔”となる北5西1-北5西2街区は、互いに調和し交流拠点の魅力を相乗的に高めることが求められる。

また、街区の再整備に伴う交通結節点の再編やエネルギーネットワークの形成を実効性のある物にするためには、各街区単位ではなく、交流拠点全体としての整備・活用が必要である。このため、街区ごとの個別の事業だけでなく交流拠点全体をマネジメントする取組が求められる。

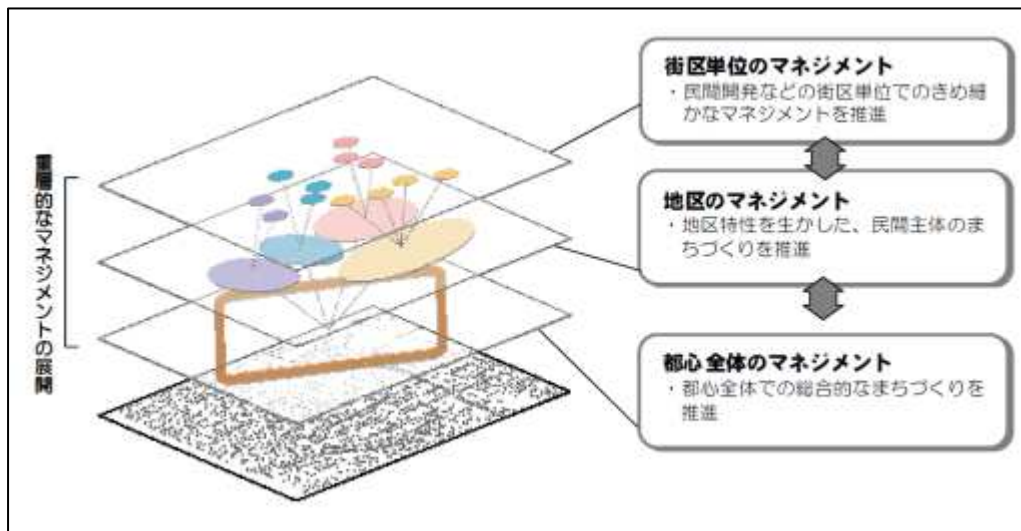
そのためには、現在開発の動きのある北8西1地区や卸センター、さらに創成川以東地区などの個別事業主体を含めた協議の場を設置し、建築規制やデザイン誘導、満たすべき環境性能、機能の連携、オープンスペースの配置、歩行者ネットワークの形成、自動車交通動線(駐車場配置)の調整、低炭素型まちづくりに向けたスマートエネルギーネットワークの形成などの取組が求められる。

このことから、目標とする将来像の実現に向け、協働によるまちづくりを推進していくため、札幌市が主体となって「(仮)札幌駅交流拠点再整備協議会」を創設することが必要である。協議会では、行政や事業者、地権者などの関係者間で意見を交わし、全体を調整するとともに、エリアマネジメントの実践に向けた枠組みについて検討を深めていく。

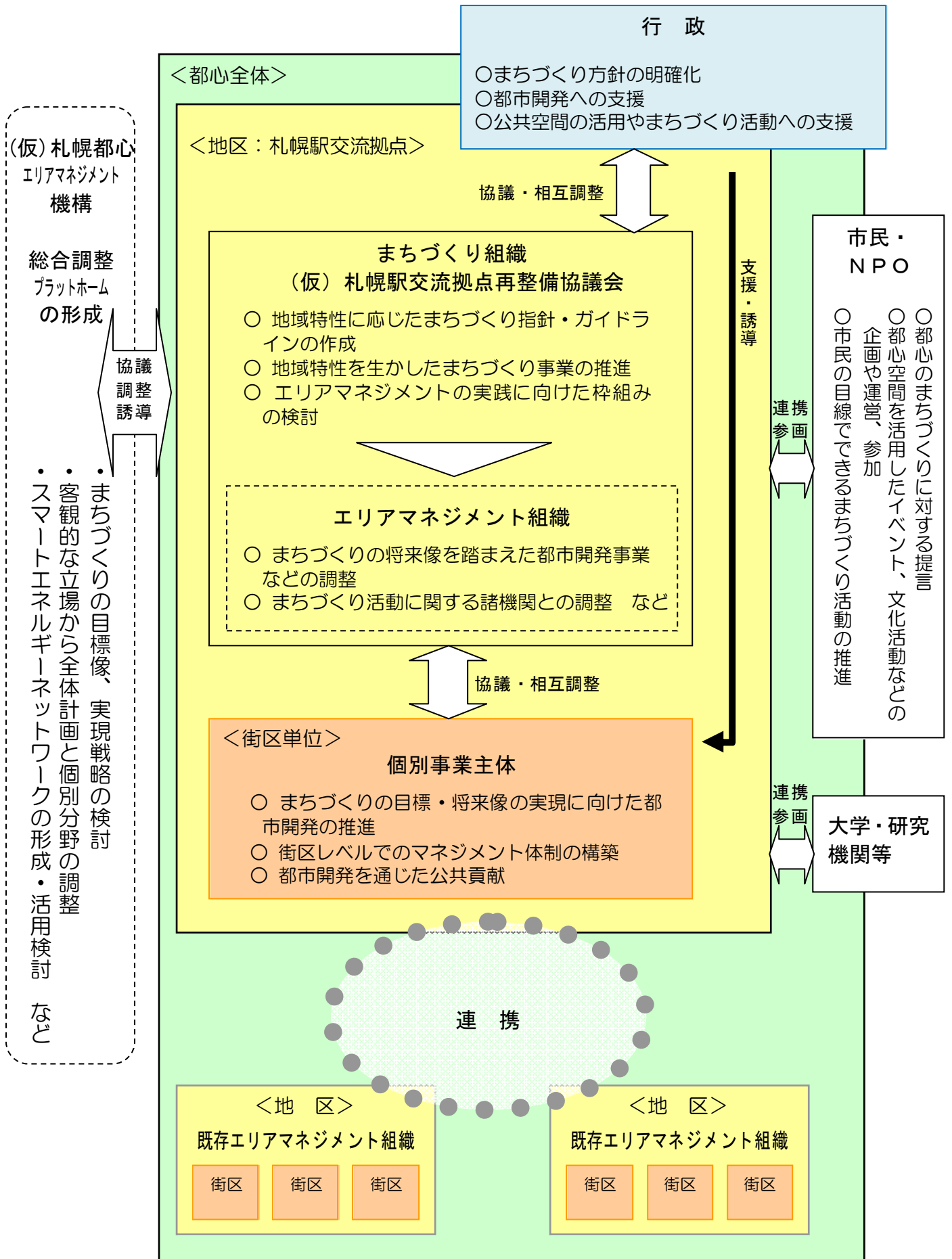
そのうえで、交流拠点全体の価値向上を目的とした、多様な取組を実践する役割を担う地区単位のエリアマネジメント組織の確立を目指すことが必要である。

また、今後は都心全体のマネジメントに向けて、(仮)札幌都心エリアマネジメント機構として、自ら都心の目標像や実現化戦略の検討を進めながら、開発や都市計画などの総合調整などを行う、プラットフォームとなる組織の設立が求められる。

参考：重層的なマネジメント体制の考え方



図：札幌駅交流拠点におけるエリアマネジメント体制イメージ



V-2 今後に向けて

札幌駅交流拠点が目標とする将来像の実現に向けては、まず始めに、札幌市が北海道新幹線札幌延伸の動向を見据えながらまちづくりの方針を明確にし、地権者や事業者などの関係者とともに、協働したまちづくりを推進する組織となる「(仮)札幌駅交流拠点再整備協議会」を創設する。

協議会は、既に動き出している開発事業との協議・調整を図りながら、将来のまちづくりに向けた指針の策定や、交流拠点全体の価値向上を目的として多様な取組を実践する地区単位のエリアマネジメントの枠組み等について検討を進める。

次に、これら検討成果に基づき、各事業間の連携・調整をしながら、札幌駅南口街区（北5西1～北5西4街区）やその他街区における再整備および、エリアマネジメント組織の立ち上げに向けた取組を進めるなど、指針に基づいたまちづくりの具体化の実現を図っていく。

このように、様々な取組を積み重ねていくことによって、主要な開発事業やスマートエネルギーネットワークなどの都市基盤の具体化、並びに北海道新幹線や路面電車など新たな交通機能の整備効果の最大化などが図られ、まちづくりの将来像や目標を実現することが可能となることから、札幌駅交流拠点の形成にあたっては、計画的にまちづくりの取組を連鎖させていくことが必要である。

また、これらの取組は、北海道新幹線札幌延伸の早期開業を実現するためにも、概ね10年でのまちづくりの具体化を目指し、積極的に推進していくことが重要である。

(1) 早期に着手する事項

本構想案の具体化に向け、早期に着手する事項およびその際の各主体の役割について、以下のとおり整理する。

なお、取組に際しては、本構想案の提言後、近々正式決定が見込まれる北海道新幹線札幌延伸の動向を見据えながら、速やかに札幌市がまちづくりの方針を明確にしていくことが求められる。

① まちづくり方針の明確化

本再整備構想案を踏まえた、行政によるまちづくり方針の明確化

取り組み内容と各主体の役割

○まちづくり方針の明確化	札幌市 <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用、導入機能等の考え方 ・基幹的都市基盤施設（駅前広場等）の検討・整備 ・各街区間で連携・調整すべき機能の方針 など
--------------	--

② まちづくり組織の創設・取組の推進

：(仮)札幌駅交流拠点再整備協議会

各主体が参加した、事業調整や支援を行う中間的な役割を担うまちづくり組織を創設し、まちづくりの方向性を包括的に検討・推進

- ・当面の活動母体となる、まちづくり準備組織の立ち上げ
- ・段階的な組織づくりと将来的な組織体制、事業内容の検討
- ・まちづくり組織による“まちづくり指針”の策定、各主体の役割の明確化
- ・エリアマネジメントの実践に向けた枠組みの検討

取り組み内容と各主体の役割

○まちづくり組織の創設 ：(仮)札幌駅交流拠点再整備協議会	札幌市、地権者、エネルギー供給事業者 など <ul style="list-style-type: none"> ・協議会への参画 市民、NPO、大学・研究機関 など <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する提言
○まちづくり指針の策定、指針に即した個別事業の誘導・調整	(仮)札幌駅交流拠点再整備協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり指針の策定 ・指針に即した個別事業の誘導・調整 ・エリアマネジメントの実践に向けた枠組みの検討 札幌市 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画等による指針の担保

③ 南口街区（北5西1～北5西4街区）再整備の実施方針

本構想案の基幹的な街区である、北5西1～北5西4街区の再整備を実現するための実施方針の検討

- ・北5西1-北5西2街区の一体的再整備の方針
- ・パブリックライフの起点としての機能強化方針
- ・交通結節点強化方針

取り組み内容と各主体の役割

○南口街区（北5西1～北5西4街区）の一体的な事業展開	札幌市 ・具体的な事業化に向け関係者間で連携・調整する場の設置 ・事業に対する支援 地権者、各交通事業者 など ・関係者間で連携・調整する場への参画 ・まちづくり指針に即した実施方針の策定、事業展開
-----------------------------	--

【上記①～③の検討にあたって見据えるべき事項】

- ・北海道新幹線の札幌延伸の動向
- ・自動車高速ネットワークとの都心アクセス機能強化に向けた検討状況
- ・路面電車の札幌駅延伸に向けた検討状況 など

④地域エネルギー供給に係る更なる低炭素都市づくりの追及（都心全体）

環境首都・札幌の実践空間の形成に向けて、地域エネルギー供給に係る更なる低炭素都市づくりの追及

- ・低炭素都市づくりに向けた札幌駅交流拠点の位置づけの明確化
- ・スマートエネルギーネットワーク形成に向けた基本的考え方、整備方針の検討
- ・再生可能エネルギー等の積極的な活用、利用拡大
- ・建物・街区レベルに求める環境性能及び環境貢献に対するインセンティブの検討

取り組み内容と各主体の役割

<p>○地域エネルギー供給に係る更なる低炭素都市づくりの追及</p>	<p>札幌市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素都市づくりに向けた札幌駅交流拠点の位置づけの明確化 ・事業に対する支援 <p>札幌市、エネルギー供給事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートエネルギーネットワーク形成に向けた基本的考え方、整備方針の検討 <p>エネルギー供給事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー等の積極的な活用、利用拡大 ・自立分散型エネルギー供給拠点の設置推進、拠点間ネットワークの構築 ・スマートエネルギーネットワークの形成・展開
------------------------------------	--

(2) 事業展開プログラムの想定 ～北海道新幹線札幌延伸の早期開業を目指して～

